

ボーイ隊の活動

スキー訓練

1月19日(土)~20日(日)
 於:やぶはら高原スキー場
 今年は欠席者もなく、全員元気に参加することができました。
 全員スクールに入ってかなり上達したようです。
 夜はBPの著書『スカウティングフォアボーイズ』の勉強会。
 帰りの電車はかなりお疲れ?



ハイキング

2月24日(日)
 於:海上の森
 道に迷ったりもしましたが地図を片手に15Km歩きました。



一泊野営訓練

3月30日(土)~31日(日)
 於:ねむの森
 自分たちで考えた献立の料理を作るため、途中で買出しをしてからねむの森へ向かいました。



お知らせ

今夏は山口県きらら浜に於いて、第16回日本ジャンボリーが開催されます。7月31日から8月8日まで8泊9日の長期野営です。ボーイ隊からは、原田隊長・村松優花さん・中越祐希さん・小川優輝君・川口和要君が参加します。楽しい思い出をたくさん作ってきてほしいと思います。



ベンチャー隊報告

(2月～5月)

☆富士スカウト顕彰式 3/3
(池松 慶紀)



☆炊事・野営章講習会 4/13～14
(河野 源輝、伊丹 健、原 槇生人) 3名参加



☆菊章 地区面接 3/10
(原 槇生人)

☆上進式・入隊式 4/20
(池松 慶紀、河野 源輝、伊丹 健) 3名
VS・RS上進・入隊

☆救急法講習会 3/16～17
(川口 孝浩) 1名参加



☆看護章講習会 4/7
(村松 直希、川口 孝浩、原 槇生人、江口 岳、川口 晃治、伊丹 健) 6名参加



☆水野まつり 5/3
(村松 直希、川口孝浩、原 槇生人、江口 岳、川口 孝浩、伊丹 健) 6名参加



『おきて』について

団委員（スカウト委員） 森 裕次

去る4月20日に金神社公会堂内で臨時の上進式・入隊式が行われました。残念ながら「ちかいとおきて」の唱和が覚束（おぼつか）ないスカウトが多く見受けられました。

『せとろく19号』にも「ちかいとおきて」のコラムを掲載いたしましたが、今回は「おきて」を中心にふれてみたいと思います。「ちかいとおきて」が日本で制定されたのは、今からもう88年も前のことで、大正14年になります。この頃は「おきて」は10か条ありました。そして、昭和22年の戦後になると「おきて」は12になりました。私はこの12を唱和しましたが…本当に覚えるだけでも大変でした。中には途中で言えなかったり、間違ったりして隊長から叱責を受け返ぐむスカウトもいました。さて、いまは「おきて」は8つですね。これはいまから25年ほど前の昭和63年4月1日に12から8つに改正施行されてます。改正された理由は、「今の子供たちには理解し難く、21世紀の子供社会に適用できるように改正願いたい」という要旨の声が日本連盟にあがり、教育本部で改正が承認され、改訂委員会での審議を経て、昭和62年6月に全国会議の理事会で改正が承認されました。結果的には「おきて」の5項目が削除、1項目が新設されました。その内容としては——『忠節を尽くす』子供社会では使われず指導も難しい—『人の力になる』改正案の「親切」の副文にいれる—『従順である』子供社会では使わず、道徳教育でも求められておらず、自分で判断できる人間を育てることを重視するため（従順は）期待されていない—『純潔である』人々の認識の相違、かつての文科省の方針だった—『つつしみ深い』新設する「感謝」で表現できる——というものでした。

さて、おきてはB-P 節が唱えられたスカウティングの3つの原理である、「神へのつとめ」「他人へのつとめ」「自分へのつとめ」に基づいた日常行動の規範です。『信頼される人（＝誠実）—外—内—《神・仏・自然・社会への》感謝の心」という順になっています。『わたしは名誉にかけて…おきてを守ります』と誓ってるのですからきちんと覚えておきたいものですね。



投稿ノート大募集！

テーマは自由。投稿者も制限なしです。スカウト、リーダー、保護者の方でも OK です。活動したこと、BS 活動について感じたことなど、どしどし送ってください。

★編集後記

ビーバーからカブへ上進するとほんとに顔が違ってきますね。何か凛々しくなって男子は親離れしつつあり、女子は年少の子をしっかり見るようになり、ほんとに成長を感じます。

最近女子のスカウトも多くなり、リーダーとしてもしっかり班をまとめているように思います。編集しながら表紙に子どもたちのどの笑顔を載せようかと考えるのは楽しいですね。10年後このスカウトたちの成長の笑顔を見るのはまた楽しみです。

小島

団のホームページ見てね！

瀬戸6団ホームページアドレス
<http://seto6.web.fc2.com/>

ホームページ管理者 森 裕次

メールアドレス yupon31@yahoo.co.jp

